

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第98号（通巻第165号）

2011年5月31日発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
[URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/](http://www.cer.yamanashi.ac.jp/)

■ 山梨県教育委員会「第1回 教育相談活動研修会」のご報告

（山梨大学戦略的プロジェクト経費地域連携事業支援プロジェクト）

山梨県教育委員会主催の「第1回教育相談活動研修会」が5月9日（月）、県庁内会議室において開催されました。県内巡回相談員、児童相談所、県総合教育センター、少年サポートセンター（山梨県警）等、計19名の県内教育相談活動関係者が一同に会し、「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」位置づけの確認と山梨県の子ども支援事業の現状報告がありました。県内の子どもたちにとって有効な相談体制について、活発な情報交換が行われました。また、研修として講演が行われました。附属教育実践総合センターからは谷口明子教授が出席し、研修会講師として「子どもの環境移行支援—中1ギャップを中心に」のタイトルで講演を行いました。

■ 「問題を抱える子ども等の自立支援事業 第1回 運営協議会」のご報告

山梨県教育委員会が文部科学省の委託のもと推進中の事業「問題を抱える子ども等の自立支援事業」の「第1回 運営協議会」が5月23日（月）、県庁内会議室において開催されました。山梨県にある3つの適応指導教室、山梨県公立小中学校長会、児童相談所、甲府市・笛吹市・富士吉田市の教育委員会等、計26名の関係者が集まり、23年度の事業計画について提案と討議が行われました。附属教育実践総合センターからは谷口明子教授が出席し、委員長として協議の司会と全体のまとめを行いました。

■ 「第1回期間採用者等研修」の報告

平成23年度第1回期間採用者等研修を、5月28日（土）に実施しました。当日は、小中高の期間採用の先生方と学生合わせて86名が参加しました。今年度は、グループ討議を取り入れたり、講義の中に活動する場面を取り入れたり工夫された研修が多く、参加者の事後のアンケート結果をみますと、96%以上の方から「研修会は参考になった」との回答をいただき、大変喜ばしく思っています。参加者の感想をいくつか紹介します。

「実践を踏まえてのお話、ありがとうございました。自分の学級経営や授業について振り返る、とてもよい機会でした。今日聞いたこと、学んだことを学校へ戻って実践したいと思います。」（期間採用者）

「現場に実際出ている先生方と交流でき、貴重な意見を聞くことができとてもよかった。」(学生)



なお、当日の内容は次のとおりでした。

- 研修1 : (教科等指導法基礎研修)「児童・生徒をひきつける授業の工夫」
- 研修2 : (学級経営)「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりへのヒント」
- 特別研修 : (教職の基礎知識)「教職に役立つ教育法規・制度の知識」

■「第2回期間採用者等研修」のお知らせ

平成23年度第2回期間採用者等研修を下記のとおり開催いたします。参加費は無料です。

学生のみなさんは、研修1と研修2の②に参加が可能です。6月17日までにセンターに申し込むことになっておりますが、当日も受け付けております。

日時：平成23年6月25日(土) 午前9:30～15:15(特別研修は17:30まで)

会場：山梨大学教育人間科学部 J号館5階A会議室

研修内容：

研修1 : (教科等指導法研修)「思考力・表現力を育てる指導と評価のあり方」

研修2の① : (生徒指導法研修)「児童生徒理解と生徒指導の工夫」

研修2の② : (学生対象研修)「集団討議」

特別研修 : (教師の自己表現力)「文章力(作文)・言語表現力(面接・集団討議・模擬授業)」

■「第1回 教育相談室連絡協議会」のお知らせ

第1回教育相談室連絡協議会を6月7日（火）に開かれます。附属4校園の教育相談担当教諭4名と学内教員2名および非常勤相談員の出席のもと、今年度の事業予定や体制、相談状況、附属学校園への支援等について協議する予定です。附属学校関連の教育相談についてご意見・ご要望がありましたら谷口（ataniguchi@yamanashi.ac.jp : アットマークを@に変えてご利用ください）までお知らせください。

■「教師のための教育相談」の報告書に関するお願い

県内外の教師のみならず、本人・保護者の方への個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても、「日付・方法・相談対象・学年・性別・相談者・相談内容」をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので、どうぞお申しつけください。

報告用紙は、教育人間科学部総務グループ入口を入って左手にあるレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

■「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。ご利用に際しましては、事前に教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。鍵はセンター事務室にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。